

新生児グループ

所属メンバー

- ・長 和俊 (准教授・診療教授、昭和 60 年卒)
- ・兼次 洋介 (大学院 4 年、平成 16 年卒)
- ・森岡 圭太 (大学院 3 年、平成 17 年卒)
- ・早坂 格 (大学院 2 年、平成 18 年卒)
- ・卯月ゆたか (大学院 1 年、平成 17 年卒)

外来患者数 (2014 年 4 月～2015 年 3 月)

小児科新生児外来 1,009 人/年
産科外来 (1 ヶ月健診) 249 人/年

体重区分別新生児数 (2014 年 1 月～12 月) 院内出生分

体重区分	新生児数	死亡数
～1,000g	10	3
1,000～1,500g	16	1
1,500～2,000g	28	1
2,000～2,500g	83	1
2,500～4,000g	261	2
4,000g～	3	0
計	401	8

院外出生 NICU 入院児数 9 例

多胎症例数

双胎 39 組 77 例(1 児胎児死亡 1 組)
品胎 1 組 1 例(2 児胎児死亡)

研究内容

- ・新生児慢性肺疾患の病態解析
- ・臍帯血および羊水中 BNP 濃度による双胎間輸血症候群の重症度評価
- ・先天性肺胞蛋白症の病因解析
- ・遺伝性間質性肺疾患の診断・治療法開発
- ・胎児期における内分泌攪乱物質が性分化および性腺機能に及ぼす影響の研究
- ・新生児の睡眠・身体発達を促進する光環境の開発
- ・早産出生した児の活動・睡眠の発達評価と母親の睡眠との関連

【論文】

1. Kaneshi Y, Sudo A, Cho K, Satomi T, Uchida M, Nakajima T, Hattori S, Minakami H. Avoidance of Tracheostomy in a Newborn of Congenital Central Hypoventilation Syndrome. *J Neonatal Biol.* 2015 Mar; 4 :170
2. Mitsui T, Araki A, Imai A, Sato S, Miyashita C, Ito S, Sasaki S, Kitta T, Moriya K, Cho K, Morioka K, Kishi R, Nonomura K. Effects of prenatal Leydig cell function on the ratio of the second to fourth digit lengths in school-aged children. *PLoS One.* 2015 Mar 6;10(3):e0120636
3. Araki A, Mitsui T, Miyashita C, Nakajima T, Naito H, Ito S, Sasaki S, Cho K, Ikeno T, Nonomura K, Kishi R. Association between maternal exposure to di(2-ethylhexyl) phthalate and reproductive hormone levels in fetal blood: the Hokkaido study on environment and children's health. *PLoS One.* 2014 Oct 8;9(10):e109039.
4. Akaishi R, Yamada T, Kawaguchi S, Kojima T, Koyama T, Umazume T, Morikawa M, Cho K, Minakami H. Uptake of non-invasive prenatal testing by Japanese women. *Ultrasound Obstet Gynecol.* 2015 Jan;45(1):113-4.
5. Akimoto T, Cho K, Hayasaka I, Morioka K, Kaneshi Y, Furuta I, Yamada M, Ariga T, Minakami H. Hereditary interstitial lung diseases manifesting in early childhood in Japan. *Pediatr Res.* 2014 Nov;76(5):453-8.
6. Araki N, Yamada T, Morikawa M, Akimoto T, Cho K, Minakami H. Fetal presentation of Klippel-Trénaunay-Weber syndrome with massive pleural effusion and ascites. *Case Rep. Perinat. Med.* 2014; 3(1): 75-77.
7. Hayakawa M, Ito Y, Saito S, Mitsuda N, Hosono S, Yoda H, Cho K, Otsuki K, Ibara S, Terui K, Masumoto K, Murakoshi T, Nakai A, Tanaka M, Nakamura T; Executive Committee, Symposium on Japan Society of Perinatal and Neonatal Medicine. Incidence and prediction of outcome in hypoxic-ischemic encephalopathy in Japan. *Pediatr Int.* 2014 Apr;56(2):215-21
8. Morikawa M, Yamada T, Akaishi R, Kojima T, Nishida R, Koyama T, Cho K, Minakami H. Prevalence of hyperglycaemia in singleton versus twin pregnancy. *Diabetes Metab Res Rev.* 2015 Feb;31(2):198-203.
9. Nishida R1, Morikawa M, Yamada T, Takeda M, Akaishi R, Cho K, Minakami H. Successful pregnancy in a woman with uterine scarring by transverse fundal cesarean section. *J Obstet Gynaecol Res.* 2014 May;40(5):1420-2.
10. Morikawa M, Yamada T, Yamada T, Cho K, Sato S, Minakami H. Seasonal variation in the prevalence of pregnancy-induced hypertension in Japanese women. *J Obstet Gynaecol Res.* 2014 Apr;40(4):926-31.

11. Morikawa M, Cho K, Yamada T, Yamada T, Sato S, Minakami H. Do uterotonic drugs increase risk of abruptio placentae and eclampsia? Arch Gynecol Obstet. 2014 May;289(5):987-91.
12. 長 和俊:日齢0のサーファクタント無反応の超低出生体重児の治療をどうするか?周産期医学 45 巻 3 号, 330-333, (2015.03)
13. 長 和俊:最新の新生児人工呼吸管理法. 小児内科 47 巻 3 号, 350-354, (2015.03)
14. 長 和俊:肺サーファクタント. 周産期医学 44 巻 12 号, 1641-1645, (2014.12)
15. 長 和俊:新生児敗血症. 周産期医学 44 巻増刊, 560-565, (2014.11)
16. 岡田 忠雄, 本多 昌平, 湊 雅嗣, 長 和俊, 武富 紹信:肢先端脳梁症候群. 日本臨床 別冊 神経症候群 IV, 478-480, (2014.09)
17. 長 和俊:動脈管依存性先天性心疾患治療の現状と Lipo PGE1 製剤の意義. 診療と新薬 51 巻 7 号, 644-648, (2014.07)
18. 兼次洋介, 長 和俊:多呼吸. Neonatal Care 27 巻 6 号 534(2014.06)
19. 兼次洋介, 長 和俊:陥没呼吸・努力呼吸. Neonatal Care 27 巻 6 号 535(2014.06)
20. 兼次洋介, 長 和俊:呻吟. Neonatal Care 27 巻 6 号 536, (2014.06)
21. 兼次洋介, 長 和俊:呼吸音の減弱・左右差. Neonatal Care 27 巻 6 号 536, (2014.06)
22. 兼次洋介, 長 和俊:喘鳴. Neonatal Care 27 巻 6 号 536, (2014.06)
23. 早坂 格:赤血球輸血. 周産期医学 44 巻 5 号, 697-700, (2014.05)
24. 長 和俊:呼吸窮迫症候群, 新生児一過性多呼吸. 小児科診療 77 巻増刊(小児の治療指針), 904-906, (2014.04)
25. 長 和俊:気胸, 気縦隔. 小児科診療 77 巻増刊(小児の治療指針), 907-908, (2014.04)
26. 兼次洋介:NICUの環境 照度への考え方の変遷. 周産期医学 44 巻 4 号, 527-532. (2014.04)

【学会発表】

1. 長 和俊:血液ガスと経皮モニタの基礎. 第 17 回新生児呼吸療法モニタリングフォーラム (信濃大町) 2015/2/19-21
2. 兼次洋介: Effects of red LED light on sleep development of preterm infants. Hot topics in Neonatology 2014. (Washington DC, USA) 2014/12/7-10
3. 早坂 格: 遺伝性間質性肺疾患に対する診断支援. 第 27 回北海道新生児談話会 (札幌) 2014/11/2
4. 長 和俊:サーファクタント補充療法ガイドライン策定の進捗状況. 第 27 回新生児慢性肺疾患研究会 (大阪) 2014/10/18
5. 長 和俊:子宮内炎症・感染と新生児の予後. 第 11 回 周産期新生児感染症研究会 (神戸) 2014/10/9
6. 長 和俊:新生児呼吸障害の鑑別診断 (第 4 回小児科専門医・専門医取得のためのインテンシブコース) (札幌) 2014/8/9-10

7. 長 和俊：専門医制度の今後 地域医療からみた専門医制度と暫定措置規定改訂の利点 新生児の立場から. 第 50 回日本周産期・新生児医学会（浦安）2014/7/13-15
8. 兼次洋介：NICU における加湿加温高流量経鼻酸素カニューレの使用経験. 第 50 回日本周産期・新生児医学会（浦安）2014/7/13-15
9. 長 和俊：遺伝性間質性肺疾患の診断支援. 第 54 回日本呼吸器学会（共同企画）（大阪）2014/4/25-27
10. 早坂 格：交換輸血を施行した一過性骨髄異常増殖症の 5 例. 第 117 回日本小児科学会.（名古屋）2014/4/11-13

【講習会】

1. 長 和俊, 兼次洋介：新生児蘇生法インストラクター養成コース講習会. 2014 年 6 月 5 日（函館, 函館中央病院）
2. 長 和俊, 森岡圭太：新生児蘇生法インストラクター養成コース講習会. 2015 年 1 月 31 日（札幌, 北海道大学大学院保健科学研究院）
3. 長 和俊, 兼次洋介, 森岡圭太：新生児蘇生法フォローアップ・コース講習会 2014 年 11 月 1 日（札幌, 北海道大学大学院保健科学研究院）
4. 長 和俊, 森岡圭太：天使大学助産研究科第 2 回新生児蘇生法「専門」コース講習会 2013 年 8 月 24 日（札幌, 天使大学）
5. 長 和俊：北海道助産師会第 6 回新生児蘇生法「専門」コース講習会 2014 年 8 月 31 日（札幌, 北海道大学大学院保健科学研究院）
6. 長 和俊：北海道助産師会第 7 回新生児蘇生法「専門」コース講習会 2015 年 2 月 14 日（札幌, 北海道大学大学院保健科学研究院）
7. 長 和俊, 森岡圭太, 早坂 格：WIND 第 5 回新生児蘇生法「専門」コース講習会 2014 年 11 月 24 日（札幌, 北海道大学大学病院スキルスラボ室）
8. 長 和俊：北海道大学病院周産母子センター第 7 回新生児蘇生法「一次」コース講習会. 2013 年 10 月 5 日（札幌, 北海道大学病院スキルスラボ室）
9. 長 和俊：新生児の人工呼吸 第 1 回未熟児新生児学会初期研修医向け教育セミナー 2014 年 8 月 20～21 日（安曇野市, ホリデー湯～四季の郷）
10. 長 和俊：グラフィックモニターの見方 第 18 回未熟児新生児学会教育セミナー 2014 年 8 月 21～23 日（安曇野市, ホリデー湯～四季の郷）
11. 長 和俊, 森岡圭太：新生児蘇生法講習（北海道小児科セミナー2014） 2014 年 5 月 23 日～25 日（ルスツリゾートホテル）
12. 長 和俊：新生児蘇生法講習（WIND サマーセミナー2014）2014 年 6 月 21 日（ルスツリゾートホテル）
13. 長 和俊：新生児用人工呼吸器の新たな可能性（新生児人工呼吸セミナー in 札幌）2015 年 3 月 7 日（札幌：アスティ 45）

【社会貢献】

長 和俊：JICA（フランス語圏）新生児医療講習会（北海道大学保健科学研究院）2014年9月9日

【学会活動】

日本小児科学会

代議員（長）

日本周産期・新生児医学会

評議員，周産期シンポジウム運営委員（長）

日本未熟児新生児学会

理事（長）

日本産婦人科・新生児血液学会

理事（長）

日本新生児医療連絡会

役員（長）

日本臨床モニター学会

評議員（長）

日本肺サーファクタント・界面医学会

理事（長）

日本小児保健学会

評議員（長）